

# 梨を赤星病から守ろう！



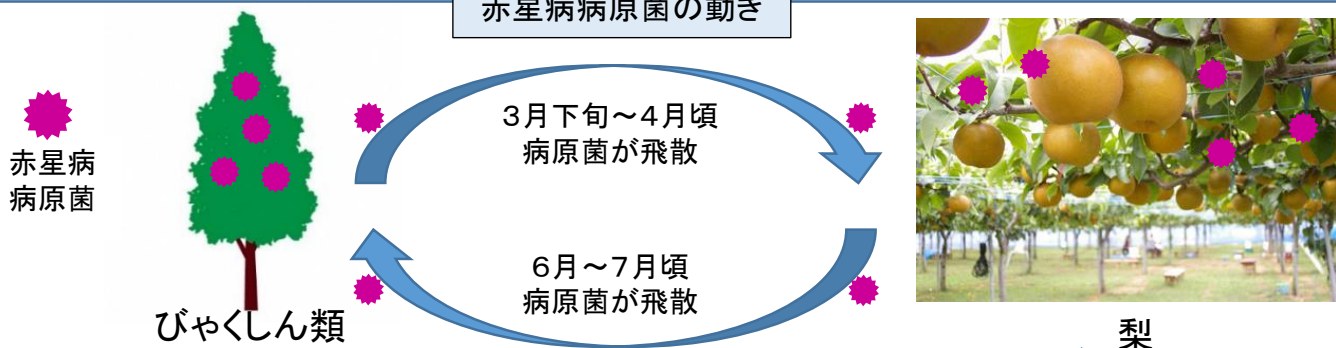
梨の生育に影響を与える樹木（びやくしん類）を植えないようにご協力をお願いします。

赤星病とは・・・梨が感染すると葉の変色・枯れを引き起こし、梨の生産に被害を及ぼす病気です。

赤星病の病原菌はびやくしん類に寄生し、3月下旬から4月頃に飛散し梨に感染します。この病原菌は1.5km程度飛散するため、梨への感染を防ぐために梨園の周辺ではびやくしん類を植栽しないことが一番重要です。

びやくしん類の樹木・・・かいづかいぶき、びやくしん、たまいぶき、くろいぶき、たちびやくしん、みやまびやくしん、はいびやくしん、ねず、スカイロケットなど

## 赤星病病原菌の動き



かいづかいぶき



かいづかいぶきに寄生した病原菌  
(冬孢子堆たい)



定期的な剪定と適正な枝葉管理をお願いします。  
※剪定・伐採や管理経費を市が負担するものではありません。

赤星病に感染した梨の葉



出典：愛知県農業総合試験場 病害虫防除室ホームページ

発行者：焼津市農政課  
農業振興担当  
Tel 054-626-2157

【問い合わせ先】

大井川農業協同組合  
焼津営農経済センター  
Tel 054-624-8989

静浜営農経済センター  
Tel 054-622-0023